

## 診療実績データの分析について

## A 「診療実績が特に少ない」の分析

## (1) 分析する領域 (9 領域)

がん、心疾患、脳卒中、救急、小児、周産期、災害、へき地、研修・派遣機能

## (2) 分析の考え方

- 各医療機関が所在する構想区域の人口規模によって、診療実績が影響を受けるため、人口規模が近い構想区域に所在する医療機関を一つのグループとしてとらえ、その中で診療実績の比較を行う。

各グループに所属する全ての公立・公的医療機関等の診療実績を比較し、各グループの中で診療実績が下位 33.3 パーセンタイル値未満である公立・公的医療機関等を「診療実績が特に少ない」とする。

構想区域は、以下の 5 つのグループで分析する。

	人口規模別	該当する県内の構想区域
1	100 万人以上	名古屋・尾張中部
2	50 万人以上 100 万人未満	尾張西部、尾張北部、知多半島、西三河南部西、東三河南部
3	20 万人以上 50 万人未満	海部、尾張東部、西三河北部、西三河南部東
4	10 万人以上 20 万人未満	
5	10 万人未満	東三河北部

- がん、心疾患、脳卒中、救急、小児、周産期の 6 領域について、その領域に属する全ての分析項目で「診療実績が特に少ない」に該当する場合、その領域を「診療実績が特に少ない」とする。
- 災害、へき地、研修・派遣機能については、それぞれ災害拠点病院、へき地医療拠点病院、初期臨床研修基幹病院に該当しない場合に、「診療実績が特に少ない」とする。また、総合周産期母子医療センター又は地域周産期母子医療センターに該当する場合は、診療実績に関わらず周産期領域は「診療実績が特に少ない」とはしない。

## B 「類似かつ近接」の分析

## (1) 分析する領域 (6 領域)

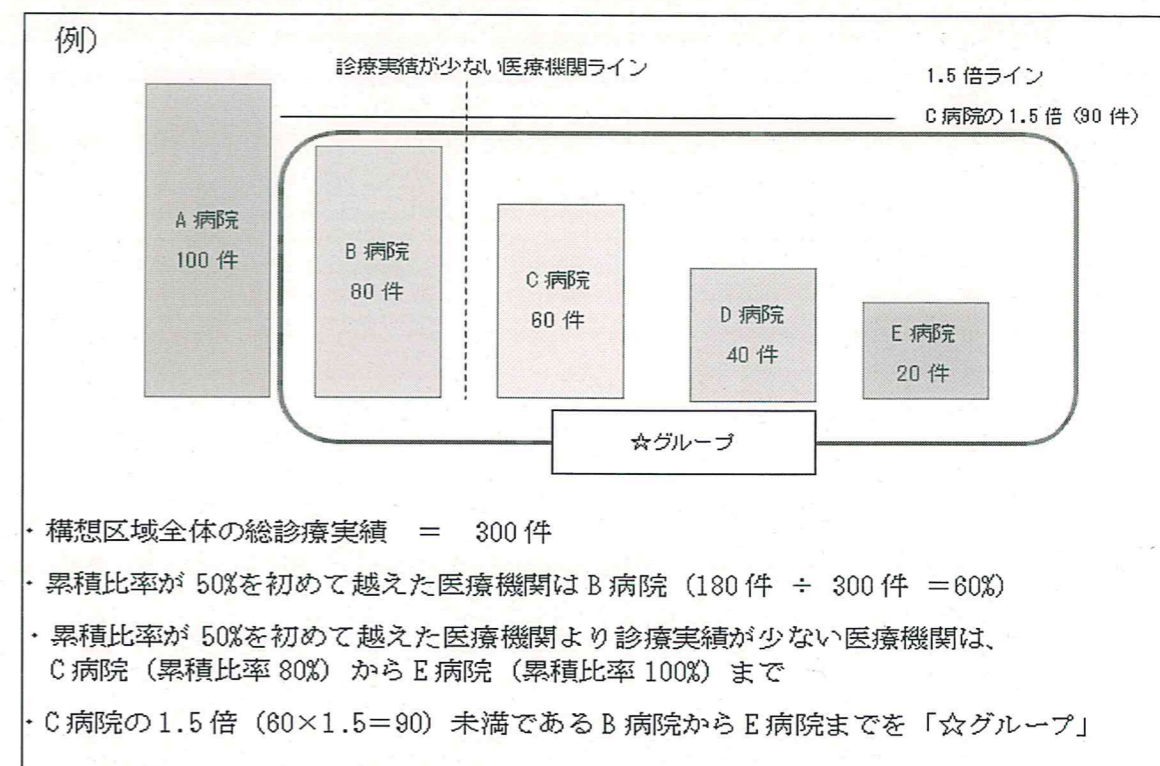
がん・心疾患・脳卒中・救急・小児・周産期

## (2) 分析の考え方

各分析項目について、構想区域内に、一定数以上の診療実績を有する医療機関が 2 つ以上 (類似の診療実績をもつ) あり、かつ、お互いの所在地が近接している。

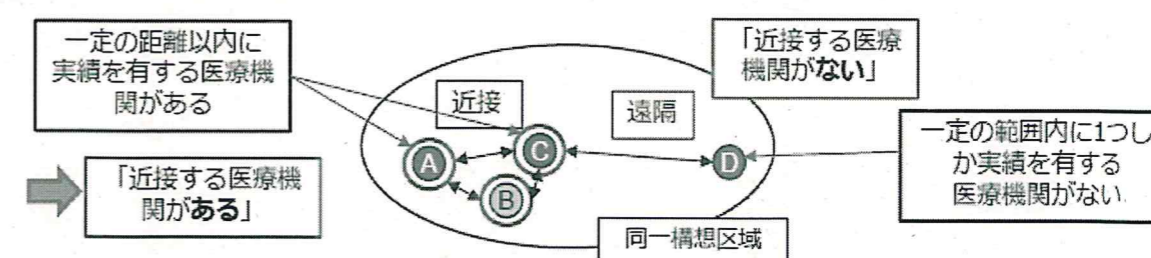
## ○ 「類似の実績」の考え方

- ・ 構想区域内の医療機関を診療実績が多い順に並べ、上位の医療機関の診療実績から順に診療実績を足し合わせていった際に構想区域全体の総診療実績の 50% を始めて超えた医療機関 (B) の診療実績未満の実績を持つ医療機関を決定する。(C、D、E)
- ・ 上記の条件を満たす医療機関の中で最も診療実績が多い医療機関 (C) の診療実績の 1.5 倍未満の診療実績を持つ医療機関 (B から E) を「☆グループ」とする。



## ○ 「近接」の考え方

- ・ 「近接」は、「自動車での移動時間が 20 分以内の距離」とし、距離の算出には NITAS (総合交通分析システム) を用いている。最短ルート (所要時間最小) により算出。



## ○ 「類似かつ近接」の考え方

- ・ 「☆グループ (類似実績有)」と「近接」の両方の条件を満たす公立・公的医療機関等について、「類似かつ近接」に該当することとする。但し、周産期の領域については、総合周産期母子医療センター又は地域周産期母子医療センターであれば上記に関わらず「類似かつ近接」としない。
- ・ 診療実績が「0」件である領域も「類似かつ近接」とする。